

自分の思いや夢を堂々と主張

田村市少年の主張大会の船引支部大会(柳沼照栄支部長)が6月14日、市文化センターで開かれました。

船引町内の7小学校の6年生10人が、日頃考えていることや願い、将来の夢などを約200人の観客の前で緊張した様子を見せず、堂々と発表しました。



審査の結果、優秀賞には「夢の情報発信者に」をテーマの宗像大真さん(芦沢小)と、「風に乗って時を感じて」をテーマの遠藤偉月さん(船引小)が選ばれました。

優秀賞の2人は、8月2日に市文化センターで開かれる田村市大会に出場します。

優良賞の結果は次のとおりです。(発表順、敬称略)

渡邊愛乃さん(船引小)、石井歩さん(緑小)、松本将さん(美山小)、石井悠希さん(船引小)、芥川光霸さん(要田小)、宗像美咲さん(船引南小)、横田愛香さん(船引小)、樽井藍さん(瀬川小)

米国留学の桑原遥さんが帰国



「田村市猪狩俊郎人材育成基金」の助成を受けて米国に1年間留学していた安積黎明高校普通科の桑原遥さん(船引町)が市役所を訪れ、鈴木副市長に帰国を報告しました。桑原さんは同基金助成の第2号として昨年8月に渡米し、アイダホ州のマジソンシニアハイスクールに入学。ホストファミリー宅にホームステイしながら学業に励み、6月19日に帰国しました。桑原さんのメッセージは次のとおりです。



10カ月アメリカに滞在してたくさんのお話を学ぶことができました。英語はもちろん、それ以上に自分が今までの環境から離れてみて気付くことができました。私はいろんな方々に支えられているということです。私にとって家族の大切さはとても大きかったです。家族の理解と協力がなければ、この留学は成功していません。私の留学に行きたいという気持ちを一番に理解してくれたのは家族でした。そして困っていたときや悩んでいたときに一番支えてくれたのも家族でした。また、第二の私の家族であるホストファミリーはいつでも私に本当の家族のように接してくれました。さらに現地の友達、そして日本の友達にも支えられました。田村市にも支えていただきました。

留学は自分を変えるチャンスでもあります。住む所も友達も家族も全ての環境が今までとは全く異なり、自分を見つめなおす時間がたくさんできました。自分を客観的に見るようになり

ました。今まで以上に人のことを考え、今まで以上に人にありがとうを言いました。そして勉強をもっとしないとイケないと思いました。行く前とでは見える世界も変わり、将来やりたいこともいろいろ見えてきました。そのようなことに気が付けたのも留学に行ったからです。

将来は人を支える仕事に就きたいと思っています。留学をしてみて、ただただ良かった一言です。辛いこともあったけど楽しいことの方が大きかったです。私を支えてくれた方々には感謝してもしきれません。この10カ月は本当に貴重で、この経験は私の一生の宝物です。

佐久間虎光さん 未永くお元気で



佐久間虎光さん(船引町船引)が7月11日に満百歳を迎えられました。県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会から賀寿と祝金、入所している船引こぶし荘からは花束などが贈られました。虎光さんは、にこやかに賀寿などを受けられていました。長寿の秘訣は「書物をよく読むこと」だそうです。

各種委員が決まりました



○監査委員に猪瀬明氏を選任

市議会議員の改選に伴い、議員選出の監査委員に前会議長の猪瀬明氏(写真①)が選ばれ、富塚市長から選任書が交付されました。

○農業委員に橋本紀一氏、鈴木義貞氏を選任

議会が推薦の農業委員に橋本紀一氏(写真②)が、農業団体から推薦の農業委員にJAたむら理事の鈴木美貞氏(写真③)が推薦され、富塚市長から選任書が交付されました。

○教育委員会委員に松本弘徳氏を任命

教育委員会委員として議会の同意を得た松本弘徳氏(写真④)に、富塚市長から任命書^{おき}が交付されました。松本委員は、大越町下大越在住で見渡神社^{おぎ}禰宜を務められています。

○固定資産評価審査委員会委員を改選

任期満了で5人が改選されました。

写真右から鈴木寅喜氏(船引町北鹿又)、吉田繁氏(常葉町常葉)、吉田幸弘氏(都路町古道)、今泉栄作氏(大越町栗出)、永井弘純氏(滝根町神保)



大越駅周辺を清掃ボランティア



大越駅友の会役員など11人が6月27日、大越駅周辺と駅構内の草刈り、花壇の草取りなどの清掃活動を行いました。この活動は「磐越東線の活性化を通じて地域の発展に貢献したい」との思いから、毎年ボランティアで行っています。